



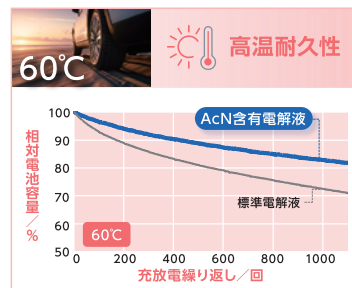
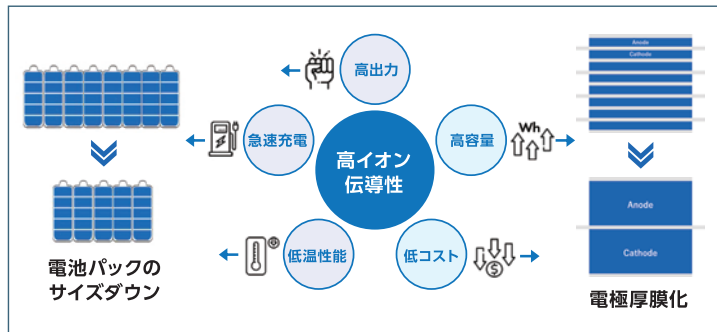
開発中

超イオン伝導性電解液

電池容量を最大利用

ユーザーメリット

- ▶ LFP系LIBを搭載したEV航続距離の向上
 - ➔ 厚膜電極でLIBの体積エネルギー密度up
- ▶ 12V鉛蓄電池をLIBに置換え
 - ➔ 低温時の出力upで12V LIBの小型化実現
- ▶ 低温時のEV航続距離の向上
 - ➔ 低温時の抵抗減でLIBの実行容量up
- ▶ 高温作動時のEV電池寿命の向上
 - ➔ 60℃充放電サイクルでLIB劣化速度の減少



※ -20℃における標準電解液の数値を100%とする

お客様からの声

- ▶ 昨今、LIBの低温特性が低いために低温時のEV航続距離が短いことが問題視されています。この問題を解決し得るアイテムとして非常に興味深いです。
- ▶ アセトニトリルはLIBには使えないという電池業界の常識を打ち破る技術です。LIB電解液のパラダイムシフトです。

採用実績

- ▶ 実績なし。LIBメーカー様の円筒電池を用いて Proof of Concept 実施済み
- ▶ OEM様、LIBメーカー様からサンプル評価のご要望を頂き、複数のプロジェクトが進行中

その他製品情報

競争優位性	イオン伝導性が極めて高いこと
サステナビリティ	LIBサイズ減: 車両軽量化によるCO ₂ 排出量低減 LIB寿命向上: LIB交換頻度の削減
背反懸念事項	お客様の設計されたセルとの摺り合わせが必要となります。